

平成 30 年度 奈良県がん診療連携協議会 分科会実績・予定  
緩和ケア分科会

<p>H30 実績・予定</p>	<p><u>拠点病院の緩和ケアにかかる取組の中で          必須要件となる取組の実施</u></p> <p>○まほろば PEACE 緩和ケア研修会 計8回          (県内拠点病院、地域がん診療病院、支援病院で開催)</p> <p>➢平成 30 年度より「e-learning」＋「集合研修」          で構成される新指針に基づき実施</p> <p>➢在宅療養支援診療所等へ、緩和ケア研修会の受講方法          の変更について周知を行う予定</p> <p>○がん性疼痛管理を中心とした緩和ケアに関する研修会          (病診連携) の開催</p> <p>○緩和ケア普及啓発(県民公開講座等) の実施</p> <p>○拠点病院の緩和ケアチーム研修会の実施(奈良医大)</p> <p>○がん医療に携わる医療者のためのコミュニケーション          技術研修会の実施を検討(奈良医大)</p> <p><u>→各病院における取組は裏面参照。</u></p>
------------------	---

平成30年度 奈良県がん診療連携協議会（緩和ケア分科会） 取組報告

◆在宅緩和ケア地域連携事業「がん性疼痛管理を中心とした緩和ケアに関する研修会」【原則必須】

医療機関名	内容
奈良医大	H30.11.25（日）「在宅緩和ケア地域連携研修会」 在宅療養支援診療所の医師や看護師等に対し、緩和ケアに関する知識と技術の研修を行う。
奈総医セ	地域の医療従事者や福祉職らと共にがん患者の意志決定や地域連携の問題を検討する症例検討会を開催予定（H30.9.13、H30.11.8、H30.12.13は症例検討会、H31.3.14はミニ講義+症例検討会の予定）
天理よろづ	「在宅緩和ケア地域連携研修会」を開催（日程未定） 緩和ケアチームと在宅緩和ケアを専門とする医師等による、緩和ケア及び病診連携に関する研修会を開催する。
近大奈良	二次医療圏の医療従事者を対象とした緩和ケアに関する研修会「生駒緩和医療研究会」を年3回開催する。（時期：①平成30年7月26日（木）、②11月（予定）、③平成31年2月（予定））
市立奈良	当院緩和ケアチームと地域の在宅緩和ケアを専門とする医師、訪問看護ステーション、福祉関係者等による緩和ケアに関するスムーズな連携と疼痛管理を中心とした研修会の実施（H30.1月ごろ予定）

◆緩和ケアの情報提供・普及啓発（県民公開講座等）【必須要件】

指針Ⅱ4（3）③/Ⅶ4（3）③：地域を対象として、緩和ケアやがん教育をはじめとするがんに関する普及啓発に努めること。

医療機関名	事業内容
奈良医大	H31.2月 県民公開講座を開催予定 一般の方を対象として、在宅緩和ケアや看取りをテーマに、がんに対する普及啓発及び情報提供を行う。
奈総医セ	H31.2月 県民公開講座を開催予定 一般の方を対象とした、治療期からの緩和ケア、がん治療方法等の講演を行い、がんに対する普及啓発及び情報提供を行う。
天理よろづ	H30.6.14 「乳がん治療（緩和ケアを含む）～医師が知りたいこと、患者さんが話したいこと～」 一般市民対象に公開講座を開催（参加者41名）
近大奈良	市民公開講座を年1回開催予定 時期：10月 テーマ：現在検討中
市立奈良	地域住民等を対象として緩和ケアに関する公開講座を開催（H31.3頃予定）

◆当該都道府県においてがん診療に携わる専門的な知識及び技能を有する医師・薬剤師・看護師等に対する研修の実施について（必須要件）【奈良医大のみ】

医療機関名	事業内容
奈良医大	H30.10.14 「奈良県緩和ケアチーム研修会」～どうしてる？緩和ケアチームに精神科医がいない～ 県内の緩和ケアチームに対する研修会を開催する。

<p>H30 実績・予定</p>	<p>○がん診療連携拠点病院、地域がん診療病院及び奈良県がん診療連携支援病院間で web カンファレンスを実施</p> <p>➢ 症例検討内容によっては、病理医や薬剤師等の多職種が参加し、内容の充実化を図る。</p> <p>&lt;実績&gt;</p> <p>○がん化学療法医療チームフォローアップ研修会の開催</p> <p>日 時：平成 30 年 5 月 27 日（日）</p> <p>場 所：奈良医大 厳櫃会館</p> <p>参加者：5 施設 20 名 （医師 4 名、薬剤師 4 名、看護師 9 名、MSW3 名）</p> <p>目 的：平成 29 年 11 月に開催した化学療法チーム研修会の参加者を対象に、その後の成果や問題点について、再度検討し、日頃の活動のモチベーションアップにつなげる。</p> <p>&lt;予定&gt;</p> <p>○がん化学療法医療チーム研修会の開催</p> <p>テーマ「症例検討で学ぶチーム医療」 ～大腸癌の治療方針の決定とマネジメントを通じて～</p> <p>日 時：平成 30 年 11 月 3 日（土）</p> <p>場 所：奈良医大 厳櫃会館</p> <p>参加者：県内の化学療法チーム（参加費無料・申込要）</p> <p>目 的：具体的な症例を通じて、がん化学療法のチームにおける情報共有のあり方や多職種連携の必要性を考える機会とする。</p>
<p>その他</p>	<p>○分科会の委員を中心に行っている自主研究グループ「奈良がん医療研究会（まほろば塾）」を年 2 回、継続して開催する予定である。</p>

<p>分科会開催日</p>	<p>【開催済】 平成 30 年 6 月 7 日 (木) ※奈良県疾病対策課主催「サロン運営者会議」と同時開催 議題・相談支援部会報告 ・利用状況調査結果報告 ・相談員研修会開催について等</p> <p>【予定】 平成 30 年 9 月 6 日 (木) 平成 30 年 12 月 7 日 (金) / 平成 31 年 3 月 7 日 (木)</p>
<p>H30 予定計画</p>	<p><u>1. 治療と仕事両立支援体制の整備と充実</u> ○社会保険労務士による就労相談の実施 (各医療機関で実施) ○産業保険総合支援センター(両立支援促進員)との連携による支援 ○長期療養者就職支援事業(がん・肝炎・糖尿病の長期療養者) ハローワーク(就職ナビゲーター)による就職支援(奈良医大のみの実施) 利用者の増加に向けて相談日を固定→毎週火曜日の午後 ○療養・就労両立支援指導料の算定に伴う体制の整備 両立支援ナビゲーターの配置(研修参加)、必要書類の検討</p> <p><u>2. 相談の質の保証のための相談員のスキルアップ</u> ○がん相談員従事者研修会の開催 11 月 11 日(日) 午前予定 ○アピアランスケア研修に参加 (奈良県疾病対策課主催) 11 月 11 日(日) 午後予定 ○治療と仕事両立支援に関する研修会の開催 (各医療機関で実施)</p> <p><u>3. 患者サロン運用充実・患者会や患者団体の活動の支援</u> ○リレーフォーライフ奈良への参加 @天理駅前広場コフフン 10 月 6 日(土)~10 月 7 日(日) 予定 ○患者団体が開催する交流会、講演会への参加 ○患者サロンの運用の充実</p> <p><u>4. 相談支援センターの院内職員への周知と相談機能の強化</u> ○院内職員から相談支援センターに紹介される体制の整備 ○患者からの相談に対して適切に対応できるような、院内の関連部門・ 担当者と協働できる体制の整備</p>

1 から 4 の項目については 9 月 6 日の分科会で具体的に検討を予定

<p>分科会開催日</p>	<p><u>院内がん登録分科会</u>                  メールにて開催（予定）                  ・都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会がん登録部会報告                  ・がん登録研修会開催報告 ・ 情報提供等</p>
<p>今年度の取組</p>	<p><u>がん登録データの集計および分析</u>                  各拠点病院のがん登録 2015 年データの収集・分析                  （奈良医大）                  &gt; 奈良県疾病対策課へデータ提供依頼予定</p> <p><u>院内がん登録分科会 がん登録研修会（年2回）</u></p> <p>【第 1 回】                  共催：奈良県がん対策推進協議会 がん登録部会                  日時：平成 30 年 9 月 2 日（日）13:30～17:00                  ①「全国がん登録情報の効果的な活用について」                  講 師：国立がん研究センター がん対策情報センター                  全国がん登録室長 松田 智大 氏                  ②「血液腫瘍について」                  講 師：奈良県立医科大学附属病院                  腫瘍センター                  センター長・病院教授 神野 正敏                  奈良県立医科大学附属病院                  放射線治療・核医学科 教授 長谷川 正俊</p> <p>【第 2 回】                  日時：平成 31 年 2 月ごろ（予定）</p>

平成 30 年度 奈良県がん診療連携協議会 分科会実績・予定

地域連携分科会

<p>分科会開催日</p>	<p>平成 30 年 11 月上旬 開催予定 平成 31 年 3 月 開催予定</p>
<p>H30 実績・予定</p>	<p>&lt;実績&gt; ○患者情報共有用紙（改定案・別紙 1）作成し、完成と運用に向け、各拠点病院で確認作業中。 ➢ 昨年度の分科会での検討事項として、地域連携クリティカルパス（5 大がん 10 種類）の活用件数が伸び悩んでいる状況から、まずは全がん統一の情報共有書（別紙 1）を改訂。この共有書を運用しながら地域連携クリティカルパスを活用しやすいように改訂し、運用増加につなげていく。</p> <p>&lt;予定&gt; ○患者情報共有用紙（改定案・別紙 1）の完成 ○地域連携クリティカルパス（5 大がん 10 種類）の活用状況の評価と分析 ○地域連携クリティカルパスのあり方について国の動向を把握する。（今年度と来年度） ○地域との多職種連携カンファレンス実施を推進 ○11 月分科会開催     患者情報共有用紙の検討及び具体的運用計画 ○3 月分科会開催     年度評価と次年度計画</p>

紹介先医療機関

紹介元医療機関

別紙1

先生御侍史

診療科

医師名

基本情報	フリガナ			性別	生年月日	年齢	血液型	カルテID	
	氏名			<input type="checkbox"/> 男性 <input type="checkbox"/> 女性					
	住所								
	連絡先	自宅		備考					
	携帯								
紹介目的									
診療情報	診断病名				TNM	T	N	M	
					STAGE				
	転移	<input type="checkbox"/> 有 (部位 )	<input type="checkbox"/> 無	確定診断日					
	組織型				ホルモン受容体				
	感染症・アレルギー・副作用情報				遺伝子変異分子マーカー				
既往歴									
治療	手術	手術日			放射線	期間	年 月 日 ~ 年 月 日		
		術式				部位		線量	Gy
						転帰	<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 継続 ( 年 月 日終		
	化学療法	<input type="checkbox"/> 施行中 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 中止 <input type="checkbox"/> 過去に施行あり <input type="checkbox"/> その他 ( )			主な抗癌剤				
		1回	年 月 日 ~ 年 月 日		3回	年 月 日 ~ 年 月 日			
		2回	年 月 日 ~ 年 月 日		4回	年 月 日 ~ 年 月 日			
	免疫療法								
	その他								
処方	麻薬処方	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		禁忌薬など					
	処方内容								
緩和治療	<input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 今後予定あり <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> その他 ( )								
治療に関する特記事項									
社会資源	在宅 (かかりつけ) 医			ケアマネ					
	訪問看護ステーション			その他					
	調剤薬局								
緊急時対応									

緩和ケアの現状と評価および対処	疼痛	<input type="checkbox"/> なし	<input type="checkbox"/> あり → 部位 (		痛みの程度		
	鎮痛処置	麻薬処方		麻薬 副作用	麻薬 副作用 詳細		その他の鎮痛処置方法および特記事項
		<input type="checkbox"/> なし	<input type="checkbox"/> あり	<input type="checkbox"/> なし	<input type="checkbox"/> あり		
	消化器 症状	<input type="checkbox"/> なし	<input type="checkbox"/> あり	症状 詳細		対処 方法	
	呼吸器 症状	<input type="checkbox"/> なし	<input type="checkbox"/> あり	症状 詳細		対処 方法	
	その他 症状	<input type="checkbox"/> なし	<input type="checkbox"/> あり	症状 詳細		対処 方法	
	創傷処置 (褥瘡 等)	<input type="checkbox"/> なし	<input type="checkbox"/> あり	症状 詳細		対処 方法	
	処 置						
	食事摂取 状況						
	精神状態	患者	<input type="checkbox"/> 特に症状なし	症状が ある場 合の詳 細	<input type="checkbox"/> 不眠 <input type="checkbox"/> 興奮 <input type="checkbox"/> 不安 <input type="checkbox"/> 認知症 <input type="checkbox"/> せん妄 <input type="checkbox"/> うつ状態 <input type="checkbox"/> その他	対処方法 および 特記事項	
その他 特記事項							
説 明	告知内容	説明をした日		説明内容および理解度		家族に対する説明	
	病名の告知	年 月 日					
	病状について	年 月 日					
	予後のことについて	年 月 日					
	延命治療について	年 月 日					
	緩和ケアについて	年 月 日					
思 い・希 望	がん治療に対する希 望・ 延命治療や療養場所 に関する思いなど	本人					
		家族					
医療上の 課題や問題 点							
備 考							

平成 30 年度 奈良県がん診療連携協議会 分科会実績・予定

放射線療法分科会

分科会開催日	メールにて開催（平成 30 年 8 月 27 日） ※下記参照
--------	------------------------------------

奈良県がん診療連携協議会 放射線療法分科会 委員の皆様

平成 30 年 8 月 27 日

県内の放射線治療ではいろいろとお世話になります。新たな機器の導入やスタッフの増員をされた施設もあり、ますます充実した高精度治療に取り組まれていることと存じます。ただし、その一方で、平成 30 年 4 月の診療報酬改定では IMRT の要件は緩和されず、厳しい状況が続いています。

さらに、国指定のがん診療連携拠点病院（都道府県、地方）では、指定要件において、放射線治療医が、「原則常勤」から「常勤」（必須；ただし、猶予期間あり）に変更となっています。

さて今回の分科会からは、記載事項をエクセルにまとめさせていただきました。

県内の放射線治療の連携、協力体制の強化を目的として、情報交換ができればと考えています。恐縮ですが、ご回答、ご意見等をエクセルに記入後、原則として全員に添付ファイルでお送り下さい。

（なお、9 月 1 日から放射線治療専門医になられる先生は、治療専門医としてカウントして下さい。）

担当者が交代された施設におきましてはお手数ですが、転送をお願いいたします。

個人情報、その他の理由で、全員に返信が不可の場合には、事務局担当、奈良医大の長谷川のみにご返信下さい。

<分科会委員>

奈良県立医科大学附属病院 放射線治療・核医学科 長谷川正俊

奈良県総合医療センター 放射線科

天理よろづ病院 放射線部

近畿大学奈良病院 放射線科

済生会中和病院 放射線科

高井病院 放射線科、脳外科

高田市立病院 放射線治療科

市立奈良病院 放射線科\*

その他、何かご意見等ありましたら、お知らせ下さい。

以上よろしくご願ひ申し上げます。

奈良県立医科大学附属病院

長谷川正俊

病院名	奈良県立医科大学附属病院	奈良県総合医療センター	天理よろづ相談所病院	近畿大学奈良病院	市立奈良病院	高田市立病院	済生会中和病院	高井病院
診療科名	放射線治療・核医学科	放射線科	放射線部治療部門					放射線科、脳神経外科
部門責任者または連絡担当の分科会委員	長谷川正俊							
がん拠点病院	都道府県がん診療連携拠点病院	地域がん診療連携拠点病院	地域がん診療連携拠点病院	地域がん診療連携拠点病院	地域がん診療連携拠点病院			
リニアック(台数)	3	2	2	1	1	1	1	1
ガンナイフ(台数)	0	0	0	0	0	0	0	1
陽子線治療装置(台数)	0	0	0	0	0	0	0	1
高線量率小線源治療装置(Ir等)(台数)	1	0	1	0	0	0	0	0
前立腺癌ヨード永久刺入装置(台数)	1	0	0	0	0	0	0	0
他(台数)	1	0	0		0	0	0	0
常勤医師数(総数)	7	1	3		0	2	1	4
常勤放射線治療専門医数	6	1	2		0	2	1	3
専従(治療8割以上)	5	1	3		0	2	1	4
専任(治療5割以上8割未満)	1	0	0		0	0	0	0
兼任(5割未満)	1	0	0		0	0	0	0
非常勤医師数	2	2	0		4		1	2
常勤医学物理士数(治療関連総数)	7	1	1			2	0	5
専従(物理8割以上)	1	1	0			1	0	1
専任(物理5割以上8割未満)	0	0	0			0	0	0
兼任(物理5割未満)	0	0	0			0	0	0
技師として勤務	6	1	1			1	0	4
放射線治療担当技師数(計)	13	6	7			5	3	8
放射線治療担当技師数(実働数)	8	6	5.5			3	2	8
専従(治療8割以上)	5	5	4			2	1	6
専任(治療5割以上8割未満)	7	0	0			1	0	0
兼任(5割未満)	1	1	3			2	1	2
放射線治療品質管理士数	2	3	1			3	1	2
放射線治療担当看護師(実働数)	6	2	1			1.5	1	1
他スタッフ等数								
強度変調放射線治療の実施(○または×)	○							
実施要件充足(○または×)	○							
固定多門IMRT(○または×)	○							
VMAT (○または×)	○							
脳 (○または×)	○							
頭頸部 (○または×)	○							
前立腺 (○または×)	○							
食道 (○または×)	○							
肺 (○または×)	○							
脾 (○または×)	○							
直腸 (○または×)	○							
骨 (○または×)	○							
その他 (○または×)	○							
定位放射線照射の実施(○または×)	○							
脳 (○または×)	○							
肺 (○または×)	○							
肝 (○または×)	○							
その他 (○または×)	○							
全身照射 (○または×)	○							
術中照射 (○または×)	○(ただし、症例なし)							
その他の特殊治療(外部照射)	○							
メタストロン(骨転移)	○							
ゾーフィコ(骨転移のある前立腺癌)	○							
ゼバリン(リンパ腫)	○							
ヨード(甲状腺癌)	○							
他の内用療法								
コメント	昨年度の途中から、リニアックを4台から3台に変更(ノバリスを廃棄)、高線量率小線源治療装置をIGBT対応に変更							